TDC アプリ支援パッケージ

操作マニュアル

株式会社トヨタシステムズ

第1.2.0版 2022年4月15日

変更履歴

| 項 | 版数 | 変更日付 | 変更内容 |
|---|-------|-----------|-----------------|
| 1 | 1.0.0 | 2018/4/1 | 新規作成 |
| 2 | 1.1.0 | 2020/3/16 | 操作マニュアルのレイアウト変更 |
| 3 | 1.2.0 | 2022/4/15 | リンク先変更 |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

目次

| 1. | はじめに | 1 |
|-----|----------------------|----|
| 2. | 操作メニュー | 2 |
| 3. | 受信処理 | 4 |
| 4. | 送信処理 | 11 |
| 5. | リスト出力 | 16 |
| 6. | データ作成 | 19 |
| 7. | ログ参照 | 22 |
| 8. | CTLデータ作成 | 24 |
| 9. | 環境設定 | 32 |
| 10. | バックアップ・リストアツール | 34 |
| 11. | 補足 | 36 |
| 11. | 1 コントロールデータ作成手順 | 36 |
| 11. | 2 受信設定「統合」と「上書き」について | 36 |

1. はじめに

このマニュアルは、TDC アプリ支援パッケージの操作マニュアルです。

【本マニュアル関連サイト・ドキュメント】

・TDC パッケージ QA サイト https://www.toyotasystems.com/service/edi/u-diex/doc/pkg-qa/

・TDC アプリ支援パッケージ操作マニュアル(本マニュアル)

https://www.toyotasystems.com/service/edi/u-diex/doc/pkg-qa/aplctl.pdf

2. 操作メニュー



【機能概要】

・ファイルの受信や送信、リスト出力、データ作成など業務に関係する各機能を選択します。

【運用手順】

①実施する機能をクリックします。

②操作メニューを終了する場合は、[終了]をクリックします。

【操作説明】

・各ボタンの概要を説明します。

■ 受信処理

・通信 PKG と連携して、DIEX(汎用)センター及び、u-DIEX(汎用)センターからファイルを受信します。

- ・受信処理に関する設定の登録や変更を行います。
- ・受信処理を介さず、変換処理のみの実行を可能とします。
- 送信処理

・通信 PKG と連携して、DIEX(汎用)センター及び、u-DIEX(汎用)センターへファイルを送信します。 ・送信処理に関する設定の登録や変更を行います。

■ <u>リスト出力</u>

・リスト定義ファイルに則った、リストの出力(帳票印刷)を行います。

■ <u>データ作成</u>

・データ定義ファイルに則った、データファイルの作成を行います。

■ □グ参照

・各機能に関するログの参照を行います。

- <u>CTL データ作成</u>
 ・データの変換処理に関する定義ファイルの作成を行います。
- 終了

・操作メニューを閉じます。

■ 環境設定

・ログファイルの保管日数や、システムが使用する各種フォルダのパスを設定します。 ・バックアップ・リストアツールを起動します。

■ ヘルプ

・操作マニュアルを表示します。

۰URL

<u>http://www.toyotasystems.com/service/edi/u-diex/doc/pkg-qa/aplctl.pdf</u> ※該当端末がイントラネットまたはインターネットに接続できる環境の場合に可能です。

3. 受信処理

| 受信処理 | | | | - 🗆 × |
|-----------|-----------|----------|------------------|-------|
| 冶索冬件 | | | | |
| 業務コード: | 発信元: | メッセ- | -ジ識別子: | 検索 |
| | | | | |
| 業務コード | 発信元 | メッセージ識別子 | 業務名 | ^ |
| T1000BAP0 | | ITNSBAP0 | W-IPS注文書 | |
| T1000BAP1 | | ITNSBAP1 | 試作部品納品書 | |
| T1000BAP2 | | ITNSBAP2 | W-IPS支給品構成 | |
| T1000BAP3 | | ITNSBAP3 | W-IPS支給品手配 | |
| T1000BAP4 | | ITNSBAP4 | W-IPS受入通知 | |
| T1000BAP5 | | ITNSBAP5 | W-IPS無償支給 | |
| T1000D0A2 | | ITNSD0A2 | 部品注文書 (月次) | |
| T1000D0B2 | | ITNSD0B2 | 部品注文書 (計変) | |
| T1000D1B | | ITNSD1B | 受領データ(直送支給) | |
| T1000D1J1 | | ITNSD1J1 | 特殊部品内示データ(非下請業者) | |
| T1000D1K1 | | ITNSD1K1 | 特殊部品計画変更連絡書データ | |
| T1000D1L1 | | ITNSD1L1 | 特殊部品注文書データ(下請業者) | |
| T1000D1Q | | ITNSD1Q | 受領データ(TMC購入部品) | |
| T1000D2E1 | | ITNSD2E1 | 納入先引取部品内示データ(月次) | |
| T1000D2F1 | | ITNSD2F1 | 納入先引取部品内示データ(計変) | |
| T1000D2W1 | | ITNSD2W1 | 部品内示事前連絡書データ(プレ) | |
| T1000D2Y1 | | ITNSD2Y1 | 納入先引取部品内示データ(プレ) | |
| T1000G530 | | ITNSG530 | 買掛金明細 | |
| T1000V310 | | ITNSV310 | 直送メーカーリジェクトリスト | × |
| 通信PKG連携 | | 登録処理 | | |
| 受信 変換のみ | 全受信 全変換のみ | 追加 | 変更 コピー 削除 | 閉じる |

【機能概要】

・受信処理に関する設定の編集(追加、変更、コピー、削除)を行います。

・業務コード、発信元、メッセージ識別子を検索条件として受信設定を検索し、結果を一覧表に表示します。

- ・ボタンのクリックにより、登録されている設定値をパラメータとして、受信(変換)処理を実行します。
 - 受信:一覧表で選択されている設定で受信後、受信ファイルを変換
 - 全受信:一覧表に表示されている全ての設定で受信後、受信ファイルを変換
 - 変換:一覧表で選択されている設定で変換
 - 全変換:一覧表で表示されている全ての設定で変換

【運用手順】

①検索条件の指定を行い、登録済みの受信設定を一覧表へ表示します。

- ② [追加] [変更] [コピー] [削除] ボタンのクリックにより、受信処理(詳細) 画面へ遷移し、
 各項目値を設定します。
- ③受信処理(詳細)画面で〔登録〕ボタンのクリックにより、受信設定が登録されます。
- ④ [受信] [変換のみ] [全受信] [全変換のみ] ボタンのクリックにより、受信もしくは変換処理を 実行します。

※「受信処理状況」画面に実行結果が表示されます。

【操作説明】

・入力項目、および選択項目についての指定方法を説明します。

1. 一覧表示の検索条件指定

・登録済みの受信設定を、画面上に一覧表示する為の検索条件は、業務コード、発信元、 メッセージ識別子で指定します。指定した条件を全て満たしたデータが表示の対象となります。

- A)業務コードは、任意の文字列を入力することにより指定を行います。
 ※検索条件に入力された業務コードと、登録されている業務コードの先頭より、文字列が一致する 受信設定だけが表示対象となります。
 ※ブランク(未入力)の場合は、全てが対象となります。
- B)発信元は、任意の文字列を入力することにより指定を行います。
 ※検索条件に入力された発信元と、登録されている発信元の先頭より、文字列が一致する 受信設定だけが表示対象となります。
 ※ブランク(未入力)の場合は、全てが対象となります。
- C) メッセージ識別子は、任意の文字列を入力することにより指定を行います。
 ※検索条件に入力されたメッセージ識別子と、登録されているメッセージ識別子の先頭より、
 文字列が一致する受信設定だけが表示対象となります。
 ※ブランク(未入力)の場合は、全てが対象となります。

2. 一覧表示の検索指示

・指定済みの検索条件に一致する受信設定を、画面上へ一覧表示する場合に指示を行います。

A) 指定済みの検索条件で登録済み受信設定を表示する場合、 [検索] ボタンのクリックにより、
 検索を開始して一覧表示を行います。
 ※画面起動時に登録済みのものが全件初期表示されます。
 ※一覧表示は、業務コードの昇順に表示されます。

3. 受信設定の編集

・受信(変換)時の設定情報を登録する場合に行います。

※一覧表の表示件数が0件の場合「変更」「コピー」「削除」ボタンは押せません。

※「変更」「コピー」「削除」ボタンをクリックした場合、一覧表で選択されている受信設定の内容が 初期値として設定されます。

| 🚺 受信処理 (詳細) | | - | - 0 | × |
|---|--|----|-----|---|
| 対象業務 業務コード(*): | 業務名: | | | |
| □ 通信バッケージ連携 メッセージ識別子: | 発信元: | | | |
| 変換処理 対象ファイル検索条件 ファイルコード(*): | 発信元取引先コード: 自社取引先コード: | | | |
| - ファイル裁定 出力ファイル名(*): [コントロールデータファイル名(*): [| 参照 □ 統合 ☑ 上書き 参照 □ | | | |
| - コントロールデータ データ形式: | アプリレコード長: | | | |
| 伝送フォーマット変換: ヘッダー情報: | 対象伝送フォーマット: | | | |
| □-ド変換: 組み立て: | 変換仕様: | | | |
| | | | | |
| | | 登録 | 閉じる | |

- A) 新規に受信設定を登録する場合は、受信処理画面にて、 [追加] ボタンのクリックにより 受信処理(詳細)画面へ遷移します。
- B) 各設定項目を入力し [登録] ボタンをクリックすることで、受信処理画面の一覧表へ、
 受信設定が追加されます。
 ※通信パッケージと連携してファイルを受信する場合のみ「通信パッケージ連携」項目を入力します。

| く設定項目 | (業務対象) | > |
|-------|--------|---|

| 項目 | 説明 |
|-------|--------------------------------|
| 業務コード | ファイルの受信(変換)を行う際の識別子を設定します。 |
| | ※1~16 文字で設定を行います。 |
| | ※全角文字は2文字分とみなします。 |
| | ※英文字は大文字、小文字を区別します。 |
| 業務名 | 業務コードを識別する為の補足事項として、業務名を設定します。 |
| | ※1~128 文字で設定を行います。 |
| | ※全角文字は2文字分とみなします。 |

<設定項目(通信パッケージ連携)>

| 項目 | 説明 |
|----------|-----------------------------------|
| メッセージ識別子 | 通信パッケージで管理される、ファイル受信を行う際の識別子です。 |
| | ※1~8 文字で設定を行います。 |
| | ※半角英数字のみ入力可能です。 |
| | ※英文字は大文字のみ入力可能です。 |
| | ※通信パッケージのメッセージマスタに登録されている必要があります。 |
| 発信元 | 通信パッケージで管理される、データ送信元の取引先コードです。 |
| | ※1~24 文字で設定を行います。 |
| | ※全角文字は2文字分とみなします。 |
| | ※通信パッケージのアドレス帳マスタの「別名」で登録されている |
| | 必要があります。 |
| | ※ブランク(未入力)の場合は、発信元を指定しません。 |
| 利用者名称 | 通信パッケージで管理される、ユーザー名称です。 |
| | ※1~24 文字で設定を行います。 |
| | ※全角文字は2文字分とみなします。 |
| | ※通信パッケージのユーザー登録の「利用者名称」で登録されている |
| | 必要があります。 |
| | ※通信パッケージで複数ユーザーから特定のユーザーを指定したい場合に |
| | 使用します。 |

<設定項目(対象ファイル検索条件)>

環境ファイルで設定した「受信データパス」のフォルダに存在するファイルに対して、変換処理を実行する対象 ファイルの検索条件を指定します。対象ファイルは命名規則に従ったファイル名である必要があります。 ※通信パッケージと連携してファイル受信を行う場合は、自動で命名規則通りのファイル名が適用されます。

対象ファイル命名規則

[ファイルコード].[任意].[発信元取引先コード](.[自社取引先コード]).apl ※自社取引先コードの項は任意です。

| 項目 | 説明 |
|-----------|-------------------------------------|
| ファイルコード | ファイル名のファイルコード部分と比較する文字列を指定します。 |
| | 受信の場合、通信パッケージ連携エリアで設定したメッセージ識別子で、 |
| | 通信パッケージのメッセージマスタに登録されている必要があります。 |
| | ※データ形式が自由形式の場合、メッセージ識別子を指定してください。 |
| | ※1~8 文字で設定を行います。 |
| | ※半角英数字のみ入力可能です。 |
| | ※英文字は大文字のみ入力可能です。 |
| 発信元取引先コード | ファイル名の発信元取引先コード部分と比較する文字列を指定します。 |
| | 受信の場合、通信パッケージ連携エリアで設定した発信元で、通信パッケ |
| | ージのアドレス帳マスタに登録されている必要があります。 |
| | ※1~8 文字で設定を行います。 |
| | ※半角英数字のみ入力可能です。 |
| | ※英文字は大文字のみ入力可能です。 |
| 自社取引先コード | ファイル名の宛先取引先コード部分と比較する文字列を指定します。 |
| | 受信の場合、通信パッケージ連携エリアで設定した利用者名称が、通信 |
| | パッケージのユーザーに登録されている必要があります。 |
| | また、通信パッケージの設定で「受信ファイル名宛先付加」機能を ON に |
| | する必要があります。 |
| | ※1~8 文字で設定を行います。 |
| | ※半角英数字のみ入力可能です。 |
| | ※英文字は大文字のみ入力可能です。 |

<設定項目(ファイル設定)>

| 項目 | 説明 |
|-----------|---|
| 出力ファイル名 | 受信(変換)後のファイル名です。 |
| | 任意の入力 又は [参照] ボタンのクリックにより表示される APL ファイル |
| | 選択画面で指定を行います。 |
| | ※拡張子の入力は不要です。 |
| | ※統合・上書きが未チェックの場合、環境ファイルで設定した APL フォルダ |
| | に同名ファイルが存在すると、エラーになります。 |
| コントロールデータ | 変換時の設定情報を定義したコントロールデータのファイル名です。 |
| ファイル名 | 任意の入力 又は [参照] ボタンのクリックにより表示される コントロール |
| | ファイル選択画面で指定を行います。 |
| 統合 ※ | APL フォルダ内に、出力ファイル名と同名のファイルが存在する場合、既存 |
| | のファイルへ連結する設定です。 |
| 上書き ※ | APL フォルダ内に、出力ファイル名と同名のファイルが存在する場合、既存 |
| | のファイルを上書きする設定です。 |

※「統合」「上書き」の設定によって、ファイルの保存方法が異なります。

詳細は【11.2 受信設定「統合」と「上書き」について】を参照してください。

<APL ファイル選択画面>

| APLファイル選択 | \times |
|-----------|----------|
| OUT | |
| T1000G530 | |
| T1000V110 | |
| TEST | |
| TESTIN | |
| TESTコメント | |
| TEST行数制限 | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |

※環境ファイルの「APL データパス」のフォルダに存在する、拡張子「.apl」ファイルが表示されます。 ※ダブルクリックしたファイル名が、出力ファイル名へ反映されます。

<コントロールファイル選択画面>

| コントロールファイル選択 | | × |
|--------------|------------------|-----|
| 業務コード | 業務名 | ^ |
| T1000BAP0 | W-IPS注文書 | |
| T1000BAP1 | 試作部品納品書 | |
| T1000BAP2 | W-IPS支給品構成 | |
| T1000BAP3 | W-IPS支給品手配 | |
| T1000BAP4 | W-IPS受入通知 | |
| T1000BAP5 | W-IPS無償支給 | |
| T1000D0A2 | 部品注文書(月次) | |
| T1000D0B2 | 部品注文書(計変) | |
| T1000D1B | 受領データ(直送支給) | |
| T1000D1J1 | 特殊部品内示データ(非下請業者) | |
| T1000D1K1 | 特殊部品計画変更連絡書データ | |
| T1000D1L1 | 特殊部品注文書データ(下請業者) | |
| T1000D1Q | 受領データ(TMC購入部品) | |
| TIOOODOFI | | × 1 |

※登録されている受信用コントロールファイルが表示されます。

※ダブルクリックしたコントロールファイルの内容が受信処理(詳細)画面へ表示されます。

- C) 登録されている受信設定の内容を変更する場合は、一覧表で対象を選択した状態で[変更]ボタン をクリックし、受信情報(詳細)画面へ遷移します。 ※業務コードは編集できません。
- D) 登録されている受信設定の内容を基に、新規に受信設定を作成する場合は、一覧表で対象を 選択した状態で[コピー]ボタンをクリックし、受信情報(詳細)画面へ遷移します。
 ※初期表示のままでは業務コードが重複する為、別の業務コードへ変更する必要があります。
- E) 登録されている受信設定を削除したい場合は、一覧表で対象を選択した状態で [削除] ボタンを クリックし、受信情報(詳細)画面へ遷移します。
 ※全ての項目が編集できません。

4. 受信設定の登録指示

・受信処理(詳細)画面で [登録] ボタンをクリックすることで、入力された内容で登録処理が実行され、 受信処理画面へ遷移します。

5. 受信(変換)処理の指示

・受信(変換)処理の指示方法は4通りあります。

- ・受信の場合、通信パッケージで u-DIEX (汎用) センターもしくは DIEX (汎用) センターからデータ受信 を行い、受信に成功したファイルに対して変換処理を実行します。
- ・変換の場合、環境ファイルで設定した「受信データパス」のフォルダに存在するファイルから、受信設定に基い て対象ファイルを検索し、変換処理を実行します。
- A) 受信設定を指定してファイル受信を行う場合は、一覧表で対象を選択した状態で [受信] ボタンをクリックします。

- B) 一覧表に表示されている全件に対してファイル受信を行う場合は、 [全受信] ボタンをクリックします。
- C) 受信設定を指定してファイル変換のみを行う場合は、一覧表で対象を選択した状態で [変換] ボタンをクリックします。
- D) 一覧表に表示されている全件に対してファイル変換のみを行う場合は、 [全変換] ボタンをクリック します。
- 6. 受信(変換)処理の結果表示
 - ・各種ボタンのクリックにより、受信処理状況画面に遷移し、指示した処理の結果(ログ)が確認できます。 ※処理結果はログ参照でも確認可能です。



・受信(変換)処理が正常終了した場合、環境ファイルで設定した「APL データパス」と、「保管パス」配下へファイルが作成されます。

<u>変換後ファイルの命名規則(APL データ)</u> [出力ファイル名].apl

変換後ファイルの命名規則(保管データ)

[年月] ¥ [年月日] ¥ [出力ファイル名] . [日時※] [シーケンス(00~99)].apl ※日時は yyyyMMddHHmmss 形式です。

※ [年月] 、 [年月日] フォルダは自動生成されます。

7. 画面を終了したいとき

・受信処理画面を終了したい場合は、 [閉じる] ボタンをクリックします。

4. 送信処理

| 🔇 送信処理 | | | | > |
|-----------|----------|----------|------------------------|-----|
| 検索条件 | | | | |
| 業務コ−ド: | 宛先: | メッセー | ジ識別子: | 検索 |
| | | | | |
| 業務コード | 宛先 | メッセージ識別子 | 業務名 | |
| T1000V110 | T1000000 | ITNSV110 | 直送仕入先回答 | |
| T1000VR11 | | ITNSVR11 | かんばん情報 | |
| T1000VR19 | T1000000 | ITNSVR19 | 納期変更or回答情報(督促後挽回) | |
| T1000VR20 | T1000000 | ITNSVR20 | 納期変更or回答情報(本納期変更) | |
| T1000VR21 | T1000000 | ITNSVR21 | 納期変更or回答情報(本納期回答) | |
| T1000VR33 | T1000000 | ITNSVR33 | かんぱん品内示変更回答 | |
| T1000VS03 | T1000000 | ITNSVS03 | 号口・旧型切替回答 | |
| T1000VS06 | T1000000 | ITNSVS06 | 手配基本条件回答 | |
| T1000VS09 | T1000000 | ITNSVS09 | 手配順達条件回答 | |
| T1000VS14 | T1000000 | ITNSVS14 | 仕入先包装仕様メンテ情報(新設) | |
| T1000VS17 | T1000000 | ITNSVS17 | 仕入先包装仕様メンテ情報(改善) | |
| T1000VS19 | T1000000 | ITNSVS19 | 仕入先包装材品番メンテ情報 | |
| T9999V110 | T9999000 | ITNSV110 | テスト用_直送仕入先回答 | |
| T9999VR19 | T9999000 | ITNSVR19 | テスト用_納期変更or回答情報(督促後挽回) | |
| T9999VR20 | T9999000 | ITNSVR20 | テスト用_納期変更or回答情報(本納期変更) | |
| T9999VR21 | T9999000 | ITNSVR21 | テスト用_納期変更or回答情報(本納期回答) | |
| T9999VR33 | T9999000 | ITNSVR33 | テスト用_かんばん品内示変更回答 | |
| T9999VS03 | T9999000 | ITNSVS03 | テスト用_号口・旧型切替回答 | |
| T9999VS06 | T9999000 | ITNSVS06 | テスト用 手配基本条件回答 | |
| 语信PKG連携 | 警惕机理 | | | |
| 送信 | 追加 麥面 | אר_ | 幽 帰全 | 閉じる |

【機能概要】

・送信処理に関する設定の編集(追加、変更、コピー、削除)を行います。

・業務コード、宛先、メッセージ識別子を検索条件として送信設定を検索し、結果を一覧表示します。

・ [送信] ボタンのクリックにより、登録されている設定値をパラメータとして送信処理を実行します。

【運用手順】

①検索条件の指定を行い、登録済みのデータを一覧表へ表示します。

- ② [追加] [変更] [コピー] [削除] ボタンのクリックにより、送信処理(詳細) 画面へ遷移し、 各項目値を設定します。
- ③送信処理(詳細)画面で〔登録〕ボタンのクリックにより、送信設定が登録されます。
- ④ [送信] ボタンのクリックにより、送信処理を実行します。※「送信処理状況」画面に実行結果が表示されます。

【操作説明】

・入力項目、および選択項目についての指定方法を説明します。

1. 一覧表示の検索条件指定

- ・登録済みの送信設定を、画面上に一覧表示する為の検索条件は、業務コード、宛先、 メッセージ識別子で指定します。指定した条件を全て満たした送信設定が表示の対象となります。
- A)業務コードは、任意の文字列を入力することにより指定を行います。
 ※検索条件に入力された業務コードと、登録されている業務コードの先頭より、文字列が一致する
 送信設定だけが表示対象となります。
 ※ブランク(未入力)の場合は、全てが対象となります。

- B) 宛先は、任意の文字列を入力することにより指定を行います。
 ※検索条件に入力された宛先と、登録されている宛先の先頭より、文字列が一致する
 送信設定だけが表示対象となります。
 ※ブランク(未入力)の場合は、全てが対象となります。
- C) メッセージ識別子は、任意の文字列を入力することにより指定を行います。
 ※検索条件に入力されたメッセージ識別子と、登録されているメッセージ識別子の先頭より、
 文字列が一致する送信設定だけが表示対象となります。
 ※ブランク(未入力)の場合は、全てが対象となります。

2. 一覧表示の検索指示

・指定済みの検索条件に一致する送信設定を画面上に一覧表示する場合に指示を行います。

A) 指定済みの検索条件で登録済みの送信設定を表示する場合、 [検索] ボタンのクリックにより、
 検索を開始して一覧表示を行います。
 ※画面起動時に登録済みのものが全件初期表示されます。
 ※一覧表示は、業務コードの昇順に表示されます。

3.送信設定の編集

- ・送信時の設定情報を登録する場合に行います。
 - ※一覧表の表示件数が0件の場合「変更」「コピー」「削除」ボタンは押せません。
 - ※「変更」「コピー」「削除」ボタンをクリックした場合、一覧表で選択されている送信設定の内容が 初期値として設定されます。

| 🔇 送信処理 (詳細) | | > |
|--|-------------------------|------------|
| 対象業務 業務コード(*): | 業務名: | |
| 通信パッケージ連携 メッセージ識別子(*): | 宛先: | 利用者名称: |
| 変換処理 入力ファイル名(*): コントロールデータファイル名(*): コントロールデータファイル名(*): | 参照 参照 | |
| データ形式: 伝送フォーマット変換: フォーマット変換: | レコード長 : 対象伝送フォーマット : | |
| ファイルコード:アプリ有効長: | 宛先取引先コード: | 発信元取引先コード: |
| コード変換: 組み立て: | 変換仕様: | |
| | | 登録 閉じる |

- A) 新規に送信設定を作成し登録する場合は、送信処理画面にて、 [追加] ボタンのクリックにより 送信処理(詳細) 画面へ遷移します。
- B) 各設定項目を入力し、[登録]ボタンをクリックすることで送信処理画面の一覧表へ、 送信設定が追加されます。

<設定項目(業務対象)>

| 項目 | 説明 |
|-------|--------------------------------|
| 業務コード | ファイルの送信を行う際の識別子を設定します。 |
| | ※1~16 文字で設定を行います。 |
| | ※全角文字は2文字分とみなします。 |
| | ※英文字は大文字、小文字を区別します。 |
| 業務名 | 業務コードを識別する為の補足事項として、業務名を設定します。 |
| | ※1~128 文字で設定を行います。 |
| | ※全角文字は2文字分とみなします。 |

<設定項目(通信パッケージ連携)>

| 項目 | 説明 | | | | |
|----------|-----------------------------------|--|--|--|--|
| メッセージ識別子 | 通信パッケージで管理される、ファイル送信を行う際の識別子です。 | | | | |
| | ※1~8 文字で設定を行います。 | | | | |
| | ※半角英数字のみ入力可能です。 | | | | |
| | ※英文字は大文字のみ入力可能です。 | | | | |
| | ※通信パッケージのメッセージマスタに登録されている必要があります。 | | | | |
| 宛先 | 通信パッケージで管理される、データ送信先の取引先コードです。 | | | | |
| | ※1~24 文字で設定を行います。 | | | | |
| | ※全角文字は2文字分とみなします。 | | | | |
| | ※通信パッケージのアドレス帳マスタに登録されている必要があります。 | | | | |
| | ※ブランク(未入力)の場合は、発信元を指定しません。 | | | | |
| 利用者名称 | 通信パッケージで管理される、ユーザー名称です。 | | | | |
| | ※1~24 文字で設定を行います。 | | | | |
| | ※全角文字は2文字分とみなします。 | | | | |
| | ※通信パッケージのユーザー登録の「利用者名称」で登録されている | | | | |
| | 必要があります。 | | | | |
| | ※通信パッケージで複数ユーザーから特定のユーザーを指定したい | | | | |
| | 場合に使用します。 | | | | |

<設定項目(変換処理)>

| 項目 | 説明 |
|-----------|---|
| 入力ファイル名 | 送信対象のファイル名です。 |
| | 任意の入力 又は [参照] ボタンのクリックにより表示される APL ファイル |
| | 選択画面で指定を行います。 |
| コントロールデータ | 変換時の設定情報を定義したコントロールデータのファイル名です。 |
| ファイル名 | 任意の入力 又は [参照] ボタンのクリックにより表示される コントロール |
| | ファイル選択画面で指定を行います。 |

<APL ファイル選択画面>

| APLファイル選択 X |
|--------------------|
| OUT T1000G530 |
| T1000V110 TEST |
| TESTIN TESTコメント |
| TEST行数制限 |
| |
| |
| |
| |

※環境ファイルの「APL データパス」のフォルダに存在する、拡張子「.apl」ファイルが表示されます。 ※ダブルクリックしたファイル名が、出力ファイル名へ反映されます。

<コントロールファイル選択画面>

| コントロールファイル選択 | | × |
|--------------|------------------|---|
| 業務⊐−ド | 業務名 | ^ |
| T1000BAP0 | W-IPS注文書 | |
| T1000BAP1 | 試作部品納品書 | |
| T1000BAP2 | W-IPS支給品構成 | |
| T1000BAP3 | W-IPS支給品手配 | |
| T1000BAP4 | W-IPS受入通知 | |
| T1000BAP5 | W-IPS無償支給 | |
| T1000D0A2 | 部品注文書 (月次) | |
| T1000D0B2 | 部品注文書 (計変) | |
| T1000D1B | 受領データ(直送支給) | |
| T1000D1J1 | 特殊部品内示データ(非下請業者) | |
| T1000D1K1 | 特殊部品計画変更連絡書データ | |
| T1000D1L1 | 特殊部品注文書データ(下請業者) | |
| T1000D1Q | 受領データ(TMC購入部品) | |
| TIMANAAA | | ¥ |

※登録されている送信用コントロールデータが表示されます。 ※ダブルクリックしたコントロールファイルの内容が、送信処理(詳細)画面へ反映されます。

- C) 登録されている送信設定の内容を変更する場合は、一覧表で対象のデータを選択した状態で [変更] ボタンをクリックし、送信情報(詳細)画面へ遷移します。 ※業務コードは編集できません。
- D) 登録されている送信設定の内容を基に、新規に送信設定を作成する場合は、一覧表で対象を 選択した状態で[コピー]ボタンをクリックし、送信情報(詳細)画面へ遷移します。 ※初期表示のままでは業務コードが重複する為、別の業務コードへ変更する必要があります。
- E) 登録されている送信設定を削除したい場合は、一覧表で対象を選択した状態で [削除] ボタンを クリックし、送信情報(詳細)画面へ遷移します。
 ※全ての項目が編集できません。

4.送信設定の登録指示

・送信処理(詳細)画面で [登録] ボタンをクリックすることで、入力された内容で登録処理が実行され、 送信処理画面へ遷移します。

5.送信処理の指示

・使用する送信設定を一覧表で選択した状態で、〔送信〕ボタンをクリックします。
・変換処理を実行後、通信パッケージと連携して u-DIEX (汎用) センターもしくは DIEX (汎用) センターヘファイルを送信します。
※同期&優先モードで送信を実行します。
※通信パッケージのメッセージマスタで「ヘッダー作成する」に設定している場合でも、通信パッケージの ヘッダー作成機能は使用されません。アプリ支援パッケージでフォーマット変換機能を有効にする必要 があります。

6.送信処理の結果表示

・ [送信] ボタンのクリックにより、送信処理状況画面に遷移し、送信処理の結果(ログ)が確認できます。 ※処理結果はログ参照でも確認可能です。



・送信処理が正常終了した場合、環境ファイルで設定した「保管パス」配下へ、ファイルが作成されます。

送信後ファイルの命名規則(保管データ)

[年月] ¥ [年月日] ¥ [出力ファイル名] . [日時※] [シーケンス(00~99)].apl ※日時は yyyyMMddHHmmss 形式です。

※ [年月] 、 [年月日] フォルダは自動生成されます。

7. 画面を終了したいとき

・送信処理画面を終了したい場合は、[閉じる]ボタンをクリックします。

5. リスト出力

| 検索条件 | | | | | |
|-----------|-------------------------|-------|----|---|---|
| 業務コード: | リスト名称: | | 検索 | | |
| 業務コード | リスト名称 | | | | - |
| T1000D0A2 | 部品注文書(月次)従来 | | | | |
| T1000D0A2 | 部品注文書(月次)新フォーマット | | | | |
| T1000D0B2 | 部品注文書(計変)従来 | | | | |
| T1000D1B | 受領データ(直送支給)従来横 | | | | _ |
| T1000D1B | 受領データ(直送支給)従来縦 | | | | |
| T1000D1J1 | 特殊部品内示データ(非下請業者)従来 | | | | |
| T1000D1J1 | 特殊部品内示データ(非下請業者)新フォーマット | | | | |
| T1000D1K1 | 特殊部品計画変更連絡書データ(従来) | | | | |
| T1000D1K1 | 特殊部品計画変更連絡書データ(新フォーマット) | | | | |
| T1000D1L1 | 特殊部品注文書データ(下請業者) | | | | |
| T1000D1L1 | 特殊部品注文書データ(下請業者)(従来) | | | | |
| T1000D1Q | トヨタ自動車検収リスト | | | | |
| T1000D1Q | トヨタ自動車検収リスト(従来横) | | | | |
| T1000D2E1 | 納入先引取部品内示データ(月次) | | | | |
| T1000D2E1 | 納入先引取部品内示データ(月次)(従来) | | | | |
| T1000D2F1 | 納入先引取部品内示データ(計変) | | | | |
| T1000D2F1 | 納入先引取部品内示データ(計変)(従来) | | | | |
| T1000D2W1 | 部品内示事前連絡データ(プレ) | | | | |
| T1000D2W1 | 部品内示事前連絡データ(プレ)(従来) | | | | |
| | | | | | |
| | | テータ選択 | 閉 | 5 | |

【機能概要】

- ・業務コード、リスト名称を検索条件とし、作成済みのリスト出力コントロールファイルを検索して一覧表示します。 (リスト出力コントロールファイルの作成方法は【<u>11.1 コントロールデータ作成手順</u>】を参照してください。)
- ・開始日、終了日を検索条件とし、リスト出力データをリスト出力(データ選択)画面の一覧表へ表示します。
- ・選択されたリスト出力コントロールファイルのレイアウトに従って、リスト出力データの帳票印刷(印刷プレビュー) を行います。

【運用手順】

- ①検索条件の指定を行い、リスト出力コントロールファイルの一覧表示を行います。
- ②使用するリスト出力コントロールファイルの指定を行います。
- ③帳票印刷(印刷プレビュー)を行うリスト出力データの指定を行います。
- ④印刷プレビュー画面が表示されます。

【操作説明】

・入力項目 及び 選択項目についての指定方法を説明します。

1. 一覧表示の検索条件指定(リスト出力画面)

- ・作成済みのリスト出力コントロールファイルを画面上に一覧表示する為の検索条件は、業務コード、 リスト名称で指定します。指定した条件を全て満たしたデータが表示の対象となります。
- ・リスト出力コントロールファイルは、環境ファイルの「コントロールパス」配下にある、Print フォルダに存在し、 命名規則に従ったファイル名を持つものが検索の対象となります。
 - ※命名規則: [業務コード] _ [リスト名称] .xlsx
- A)業務コードは、任意の文字列を入力することにより指定を行います。
 ※リスト出力コントロールファイルの [業務コード]部分に、検索条件に入力された業務コードを 含むデータだけが表示対象となります。
 - ※ブランク(未入力)の場合は、全てが対象となります。

 B) リスト名称は、任意の文字列を入力することにより指定を行います。
 ※リスト出力コントロールファイルの[リスト名称]部分に、検索条件に入力されたリスト名称を 含むデータだけが表示対象となります。
 ※ブランク(未入力)の場合は、全てが対象となります。

2. 一覧表示の検索指示(リスト出力画面)

・指定済みの検索条件でリスト出力コントロールファイルを画面上に一覧表示する場合に指示を行います。

A) 指定済みの検索条件でリスト出力コントロールファイルを表示する場合、 [検索] ボタンのクリックにより、
 検索を開始して一覧表示を行います。
 ※画面起動時に全件初期表示されます。

3. リスト出力コントロールファイルの指定

・帳票印刷に使用するリスト出力コントロールファイルを選択した状態で [データ選択] ボタンを クリックすることで、リスト出力 (データ選択) 画面へ遷移します。

4. 一覧表示の検索条件指定(リスト出力データ選択画面)

・リスト出力データファイルを画面上に一覧表示する為の検索条件は、業務コードと日付で指定します。 指定した条件を全て満たしたデータが表示の対象となります。

(業務コードはリスト出力コントロールファイルの業務コードが適用される為、指定する必要はありません。)

| ● リスト出力(テーダ選択) | | - U | × |
|-----------------------------------|--------|-----|---|
| | | * | |
| 開始日:2020/05/26 学 終了日:2020/06/02 学 | | 検索 | |
| | | | |
| リスト出力データ | | | |
| TEST.APL | | | |
| TESTIN.APL | | | |
| | | | |
| TES1行药制限.APL | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| EDI | 利フレビュー | 閉じる | |
| | | | |

A)開始日・終了日は、カレンダーアイコンをクリックすると表示される、日付選択ダイアログで指定します。
 ※初期値として、開始日は現在日付の7日前、終了日は現在時刻が設定されます。
 ※終了日より未来の開始日を指定することはできません。

5. 一覧表示の検索指示(リスト出力データ選択画面)

- ・指定済みの検索条件でリスト出力データファイルを画面上の一覧表へ表示する場合に指示を行います。 ※検索条件に一致するファイルが複数存在する場合、全てのファイルが一覧表へ表示されます。
- A) 指定済みの検索条件でリスト出力データファイルを一覧表示する場合、 [検索] ボタンをクリックします。
- B) 環境ファイルの「APL データパス」配下に存在し、ファイル名が「業務コード」で始まるファイルが一覧表へ 表示されます。
- C) 環境ファイルの「保管パス」配下に存在し、検索条件で指定した期間内に作成され、ファイル名が「業務 コード」で始まるファイルが一覧表へ表示されます。

6. 帳票印刷(印刷プレビュー)の指示

・帳票印刷(印刷プレビュー)を指示する場合、リスト出力(データ選択)画面の一覧表で対象とする リスト出力データを選択した状態で、[印刷プレビュー] ボタンをクリックします。

| ● 1/3 ● <th>💀 印刷ブ</th> <th>/ビュ-</th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th>-</th> <th>×</th> | 💀 印刷ブ | /ビュ- | | | | | | - | × |
|---|---------|------------------|---------------|-------------|----------------|-----------------|---|----------|---|
| PAGE NO1 •TOC 77/##/ror-9 #3k8# 2020/5/2013.20 1.9979/8///0-7 1.111 2020/5/2013/20 1.111 2.222 bbbbb 22bb 7/98(4/72) | | 9 - I I I | 1/3 | 📘 🍭 🔍 100 9 | 6 - 🔂 6 | • | | | |
| PAGE ND1 **00 T/JT#L/0+9* FAISH 2005/201128 JM1 JM1 1.111 ABBB AB 1.111 ABBB AB 2.222 DbDbb 2.20b 7/3 (1/2) | | | | | | | | | ^ |
| CO プ方理点/dy 9 #34時間 C 2015/03 / 138 C 2015/03 / 141 (英文) 141 (英文) 141 (英文) 141 (英文-9A) ① ③ | | | | | | | | PAGE NO: | |
| • TOC 77加速/r/dr 少 FX388 2003/570:133 1 101 (女子) 項目(女子) 項目(日本語) 項目(改ペータム) 1 1.111 2020 2200 ア1 2,222 00000 2200 ア1%(1/2) 1 | | | | | | | | | |
| Image: The second se | | ●TDC アプリ支援/ty: | アージ テスト印刷 | | | 2020/5/29 13:29 | | | |
| 川田(坂子) 川田(坂子) 川田(坂子) 川田(坂子) 川田(石(ホー) ハ) 1,111 aaaa 11aa あい次次方 P1 2,222 bbbb 22bb 力きくけて 1 | | | 夜日(茶串) | 15日(茶粉合) | | N397590000-X | 1 | | |
| 1.111 aaaa 11aa 80/328 P1 2,222 bbbb 22bb %8(%2 | | 項曰(数字) | 項日(央子) | 項日(央奴子) | 山田(日本語) | 項目(QズージA) | 1 | | |
| | | 1,111 | aaaa | 11aa | あいうえお | P1 | | | |
| | | 2,222 | bbbb | 22bb | かきくけこ | |] | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| (70) [4, 51] | | | | | | | | | |
| v (20) [4, 52] | | | | | | | | | |
| (20) [4, 4] | | | | | | | | | |
| (775) [A1 52] | | | | | | | | | |
| 21 /2 / P A41 (@ | レイアウト A | 4:積 | | | | | | | |

7. 画面を終了したいとき

・リスト出力画面及びリスト出力(データ選択)画面を終了したい場合は、 [閉じる] ボタンをクリックします。

6. データ作成

| 検索条件 業務コード: | 処理名: | 検索 |
|----------------|----------------------|--------|
| | | |
| 業務コード | 処理名 | |
| T1000V110 | 直送仕入先回答 | , |
| T1000VR17 | 納入遅延督促情報 | |
| T1000VR20 | 納期変更or回答情報(本納期変更) | |
| T1000VR21 | 納期変更or回答情報(本納期回答) | |
| T1000VR23 | 納期変更or回答I5-情報(本納期変更) | |
| T1000VR24 | 納期変更or回答I5-情報(本納期回答) | |
| T1000VR33 | かんばん品内示変更情報 | |
| T9999V110 | 直送仕入先回答 | |
| T9999VR17 | 納入遅延督促情報 | |
| T9999VR20 | 納期変更or回答情報(本納期変更) | |
| T9999VR21 | 納期変更or回答情報(本納期回答) | |
| T9999VR23 | 納期変更or回答I5-情報(本納期変更) | |
| T9999VR24 | 納期変更or回答15-情報(本納期回答) | |
| T9999VR33 | かんばん品内示変更情報 | |
| TESTXXX | 両面印刷テスト用 | |
| TESTZZZ | TDCアプリ支援テスト用 | |
| TEST | テスト | |
| | | |
| | | |
| | | and a |

【機能概要】

・業務コード、処理名を検索条件とし、作成済みのデータ作成コントロールファイルを検索して一覧表示します。
 (データ作成コントロールファイルの作成方法は【11.1 コントロールデータ作成手順】を参照してください。)
 ・選択されたデータ作成コントロールファイルの定義内容に応じて、データ作成画面に入力項目が設定されます。
 ・データ作成画面の入力内容を反映したデータファイルを作成します。

【運用手順】

①検索条件の指定を行い、データ作成コントロールファイルの一覧表示を行います。

②使用するデータ作成コントロールファイルの指定を行います。

③データ作成画面で入力項目に入力を行います。

【操作説明】

・入力項目 及び 選択項目についての指定方法を説明します。

1. 一覧表示の検索条件指定

・作成済みのデータ作成コントロールファイルを画面上に一覧表示する為の検索条件は、 業務コード、処理名で指定します。指定した条件を全て満たしたデータが表示の対象となります。

・データ作成コントロールファイルは、環境ファイルの「コントロールパス」配下にある、Input フォルダに存在し、 命名規則に従ったファイル名を持つものが検索の対象となります。

※命名規則: [業務コード] _ [処理名].csv

 A)業務コードは、任意の文字列を入力することにより指定を行います。
 ※データ作成コントロールファイルの [業務コード]部分に、検索条件に入力された業務コードを 含むデータだけが表示対象となります。
 ※ブランク(未入力)の場合は、全てが対象となります。 B)処理名は、任意の文字列を入力することにより指定を行います。
 ※データ作成コントロールファイルの [処理名]部分に、検索条件に入力された処理名を 含むデータだけが表示対象となります。
 ※ブランク(未入力)の場合は、全てが対象となります。

2. 一覧表示の検索指示

・指定済みの検索条件でデータ作成コントロールファイルを画面上に一覧表示する場合に指示を行います。

A) 指定済みの検索条件でデータ作成コントロールファイルを表示する場合、 [検索] ボタンのクリックにより、
 検索を開始して一覧表示を行います。
 ※画面起動時に全件初期表示されます。

3. データ作成コントロールファイルの指定

・データ作成に使用するデータ作成コントロールファイルを選択した状態で[データ作成] ボタンを クリックすることで、データ作成画面へ遷移します。

4. 入力ファイルの指定

- ・入力ファイルの [参照] ボタンをクリックすることで表示される、ファイル選択ダイアログから入力ファイルを 指定することで、選択したファイルの内容が項目入力エリアへ表示されます。
- ・データ作成コントロールファイルで定義された入力ファイル名が、APL データパス配下に存在する場合、 該当のファイルの内容が項目入力エリアへ初期表示されます。

※ファイルの内容がデータ作成コントロールファイルの項目定義に沿ったものでないと、正しく表示されません。

| 🚺 र्न-११ | 作成 | | | | | | | | - | | × |
|----------|-----|---------------------------|--------|----------|---------|-----------|----------|------------|---|----|----|
| | 入力: | ファイル: <mark>OUT.</mark> / | APL | | 参照 | | | | | | |
| | 出力 | ファイル: OUT./ | APL | | | | | | | | |
| 項目 | | 項目(数字) | 項目(英字) | 項目 (英数字) | 項目(日本語) | 項目(改ページA) | 項目 (識別子) | 項目(コメント内容) | | | |
| 桁数 | | 4 | 10 | 15 | 10 | 2 | 2 | 5 | | | |
| 型 | | 数字 | 英字 | 英数字 | 日本語 | 英数字 | 英数字 | 日本語 | | | |
| | ۶. | 1111 | aaaa | 11aa | あいうえお | P1 | | | | | |
| | | 2222 | bbbb | 22bb | かきくけこ | P1 | | | | | |
| | | 3333 | CCCC | 33cc | さしすせそ | P2 | | | | | |
| | | 4444 | dddd | 44dd | たちつてと | P3 | | | | | |
| | + | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | 作成 | 閉 | じる | |
| | | | | | | | | | | | -0 |

5. 出力ファイルの指定

・出力ファイルの指定は、任意の文字列を入力することにより行います。
※出力ファイルは環境ファイルで設定した「APL データパス」配下へ配置されます。
※同名ファイルが存在する場合は、上書きの確認ダイアログが表示されます。
※データ作成コントロールファイルで定義された出力ファイル名が初期表示されます。

6. データ項目の入力

・作成するデータファイルの内容を各項目に設定します。

A) データ作成コントロールファイルの項目定義に応じてヘッダー項目(項目、桁数、型)が表示されます。

| <ヘッダー | -項曰> |
|-----------|------|
| ~ ~ ~ / / | -火口/ |

| 項目 | 説明 |
|----|----------------------------|
| 項目 | 項目を識別する為の名称です。 |
| 桁数 | 入力可能な最大桁数です。 |
| | 型:日本語の場合、全角文字での桁数が表示されます。 |
| | (半角文字は 0.5 桁としてカウントされます。) |
| 型 | 数字:半角数字のみ可 |
| | 英字:半角英字のみ可 |
| | 英数字:半角英数字のみ可 |
| | 日本語:ひらがな、カタカナ、漢字、全角英数字を入力可 |

B) 項目に応じた値を入力します。

※型に応じていない値、または桁数を超える値は設定できません。 ※データ作成コントロールファイルで編集パターンが設定されている場合は、入力値が編集されます。

<u>7.データファイルの出力</u>

・ [作成] ボタンのクリックにより、入力された内容を持つデータファイルが作成されます。

8. 画面を終了したいとき

・データ作成画面及びデータ作成マスター画面を終了したい場合は、 [閉じる] ボタンをクリックします。

7. ログ参照

| ● ログ参照 | | | | | | - 🗆 × |
|---|-------|-------------------------------|----------|-----------|-----------|-----------------------|
| ^{検索条件} 処理日付(*): 2017年 業務コード: | 9月30日 | ■* ~ 2017年10月 7日 メッヤージ識別子: | ■▼ 2 受信 | ☑ 送信 ☑ 変換 | ☑ 正常 ☑ 異常 | 検索 |
| 処理日時 | 処理 | 業務⊐−ド | Xッセージ識別子 | 相手先 | 応答コード | |
| 2017/10/07 16:06:31 | 変換 | SAMPLE | FREE | | 000-000 | 正常終了 |
| 2017/10/07 16:06:31 | 変換 | SAMPLE | FREE | | 000-000 | 正常終了 |
| 2017/10/07 16:06:31 | 変換 | SAMPLE | FREE | | 000-000 | 正常終了 |
| 2017/10/07 16:06:31 | 変換 | SAMPLE | FREE | | 000-000 | 正常終了 |
| 2017/10/07 16:06:31 | 受信 | SAMPLE | FREE | | 901-000 | 受信ファイル無し |
| 2017/10/07 16:06:06 | 変換 | SAMPLE | FREE | | 000-000 | 正常終了 |
| 2017/10/07 16:06:06 | 受信 | SAMPLE | FREE | | 000-000 | 正常終了 |
| 2017/10/07 16:04:38 | 受信 | SAMPLE | FREE | | 000-000 | 正常終了 |
| 2017/10/07 16:01:27 | 受信 | SAMPLE | FREE | | 140-022 | システムプロセスが稼動していません |
| 2017/10/07 15:58:31 | 受信 | T1000V41 | ITNSV41 | | 120-000 | メッセージ、識別子による転送制御マスターの |
| 2017/10/07 15:56:39 | 送信 | T1000V43 | ITNSV43 | | 120-000 | メッセージ。識別子による転送制御マスターの |
| 2017/10/07 15:56:38 | 変換 | T1000V43 | ITNSV43 | | 000-000 | 正常終了 |
| K | | | | | | 開活 |

【機能概要】

・ログ情報の検索を行い、結果の一覧表示を行います。

・検索条件は、日付・処理種別・応答コード・業務コード・メッセージ識別子の指定で行います。

【運用手順】

①検索条件の指定を行い、ログ情報の一覧表示を行います。

【操作説明】

・入力項目 及び 選択項目についての指定方法を説明します。

1. 一覧表示の検索条件指定

・ログ情報を画面上に一覧表示する為の検索条件は、日付・処理種別・応答コード・業務コード・ メッセージ識別子で指定します。指定した条件を全て満たしたログ情報が表示の対象となります。

- A) 日付は、年月日の直接指定、もしくは日付選択ダイアログによる選択で指定を行います。
 ※初期値として、開始日は現在日付の7日前、終了日は現在時刻が設定されます。
 ※終了日より未来の開始日を指定することはできません。
- B) 処理種別は、受信・送信・変換のチェックボックスで指定を行います。一覧表に表示したい処理種別の 項目をチェック状態にします。
- C) 応答コードは、正常・異常のチェックボックスで指定を行います。一覧表に表示したい種別の項目を チェック状態にします。

正常:応答コードが「000-000」もしくは「 」(空白) 異常:上記以外全て

- D)業務コードは、任意の文字列を入力することにより指定を行います。
 ※ブランク(未入力)の場合は、全てが対象となります。
 ※ログ情報の業務コードと前方一致で検索を行います。
- E) メッセージ識別子は、任意の英数字を入力することにより指定を行います。
 ※ブランク(未入力)の場合は、全てが対象となります。
 ※ログ情報のメッセージ識別子と前方一致で検索を行います。
 ※英字は大文字に変換されて入力されます。

2. 一覧表示の検索指示

・指定済みの検索条件でログ情報を画面上に一覧表示する場合に指示を行います。

A) 指定済みの検索条件でログ情報を表示する場合、 [検索] ボタンのクリックにより、
 検索を開始して一覧表示を行います。ログ情報の応答コードの内容に応じて、
 一覧表の背景色が異なります。
 背景色無し:応答コードが「000-000」もしくは「」(空白)
 黄色:応答コードが「900-000」「901-000」 (受信ファイル 0 件の場合)
 赤色:上記以外全て(異常終了の場合)

※画面起動時に過去7日分のログ情報が初期表示されます。

3. 画面を終了したいとき

・ログ参照画面を終了したい場合は、 [閉じる] ボタンをクリックします。

8. CTLデータ作成

| 業務コ−ド: | 相手统 | ቲ: | ファイルコード : | ☑ 受信 ☑ 送信 | 検索 |
|----------|-----|----------|-----------|------------------|----|
| 業務コード | 処理 | 相手先 | ファイルコード | 業務名 | |
| 1000BAP0 | 受信 | | BAP0 | W-IPS注文書 | |
| 1000BAP1 | 受信 | | BAP1 | 試作部品納品書 | |
| 1000BAP2 | 受信 | | BAP2 | W-IPS支給品構成 | |
| 1000BAP3 | 受信 | | BAP3 | W-IPS支給品手配 | |
| 1000BAP4 | 受信 | | BAP4 | W-IPS受入通知 | |
| 1000BAP5 | 受信 | | BAP5 | W-IPS無償支給 | |
| 1000D0A2 | 受信 | | D0A2 | 部品注文書 (月次) | |
| 1000D0B2 | 受信 | | D0B2 | 部品注文書 (計変) | |
| 1000D1B | 受信 | | D1B | 受領データ(直送支給) | |
| 1000D1J1 | 受信 | | D1J1 | 特殊部品内示データ(非下請業者) | |
| 1000D1K1 | 受信 | | D1K1 | 特殊部品計画変更連絡書データ | |
| 1000D1L1 | 受信 | | D1L1 | 特殊部品注文書データ(下請業者) | |
| 1000D1Q | 受信 | | D1Q | 受領データ(TMC購入部品) | |
| 1000D2E1 | 受信 | | D2E1 | 納入先引取部品内示データ(月次) | |
| 1000D2F1 | 受信 | | D2F1 | 納入先引取部品内示データ(計変) | |
| 1000D2W1 | 受信 | | D2W1 | 部品内示事前連絡書データ(プレ) | |
| 1000D2Y1 | 受信 | | D2Y1 | 納入先引取部品内示データ(プレ) | |
| 1000G530 | 受信 | | G530 | 買掛金明細 | |
| 1000V110 | 送信 | T1000000 | V110 | 直送仕入先回答 | |

【機能概要】

・コントロールデータ(変換処理に関する設定)の編集(追加、変更、コピー、削除)を行います。

・業務コード、相手先、ファイルコード、処理種別を検索条件としてコントロールデータを検索し、一覧表示します。

・外部作成されたコントロールデータファイルを登録します。

【運用手順】

①検索条件の指定を行い、登録済みのコントロールデータを一覧へ表示します。

- ② [追加] [変更] [コピー] [削除] ボタンのクリックによりコントロールデータ作成(詳細) 画面へ遷移し、 コントロールデータの各項目値を設定します。
- ③ [取り込み] ボタンのクリックにより表示される、ファイル選択ダイアログで対象のコントロールデータファイルを選択 することでコントロールデータ作成(詳細)画面へ遷移し、コントロールデータの各項目値を設定します。
- ④コントロールデータ作成(詳細)画面で〔登録〕ボタンをクリックすることで、コントロールデータが登録されます。

【操作説明】

・入力項目 及び 選択項目についての指定方法を説明します。

1. 一覧表示の検索条件指定

・コントロールデータを画面上に一覧表示する為の検索条件は、業務コード、相手先、ファイルコード、 処理種別で指定します。指定した条件を全て満たしたデータが表示の対象となります。

 A)業務コードは、任意の文字列を入力することにより指定を行います。
 ※登録済みデータの業務コードが、検索条件に入力された業務コードで始まるものだけが 表示対象となります。
 ※ブランク(未入力)の場合は、全てが対象となります。

- B)相手先は、任意の文字列を入力することにより指定を行います。
 ※登録済みデータの相手先が、検索条件に入力された相手先で始まるものだけが表示対象となります。
 ※ブランク(未入力)の場合は、全てが対象となります。
- C) ファイルコードは、任意の英数字を入力することにより指定を行います。
 ※登録済みデータのファイルコードが、検索条件に入力されたファイルコードで始まるものだけが 表示対象となります。
 ※ブランク(未入力)の場合は、全てが対象となります。
 ※英字は大文字に変換されて入力されます。
- D) 処理種別は、受信・送信のチェックボックスで指定を行います。一覧表に表示したい処理種別の項目を チェック状態にします。

2. 一覧表示の検索指示

・指定済みの検索条件に一致するコントロールデータを画面上に一覧表示する場合に指示を行います。

A) 指定済みの検索条件で登録済みのコントールデータを表示する場合、 [検索] ボタンのクリックにより、
 検索を開始して一覧表示を行います。
 ※画面起動時に全件初期表示されます。

3. コントロールデータの編集

・変換処理の設定情報を登録する場合に行います。

※一覧表の表示件数が0件の場合「変更」「コピー」「削除」ボタンは押せません。

※「変更」「コピー」「削除」ボタンをクリックした場合、一覧表で選択されているコントロールデータの内容が 初期値として設定されます。

| 🔇 コントロールデータ作成(詳細) | - | | × |
|--|---|-----|----|
| 对象美務 | | | |
| 業務⊐−ド(*): 業務名: 処理: | (1) (2) (3) (4) (4) (5) (5) | | 送信 |
| フォーマット変換 コード変換 | | | |
| | | | |
| データ形式(*): TNS標準形式 ∨ アプルコード長(*): □ 改行 追加/削除 | | | |
| □ 伝送フォーマット変換 | | | |
| ® DIEX (汎用) センターフォーマット 0 u-DIEX (汎用) センターフォーマット | | | |
| ☑ フォーマット変換(ヘッター作成/削除) | | | |
| ヘッダー情報(ヘッダー作成時) | | | |
| ファイルコード: 宛先取引先コード: 発信元取引先コード: | | | |
| アプリ有効長:JIS年号: 〇 78 ⑧ 83 | | | |
| ロ 組み立て | | | |
| 変換仕様: 繰り返し 条件指定 | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| 登録 | F | 明じる | |
| 豆环 | 4 | 200 | |

A) 新規にコントロールデータを登録する場合は、コントロールデータ作成画面にて、 [追加] ボタンのクリック によりコントロールデータ作成 (詳細) 画面へ遷移します。

B) 各設定項目を入力し、 [登録] ボタンをクリックすることで、項目「処理」に応じたフォルダへコントロール データファイルが新規作成([変更]の場合は更新)され、コントロールデータ作成画面の一覧表へ コントロールデータが追加されます。

コントロールファイル作成先フォルダ

- 受信: [環境ファイルコントロールパス] ¥Recv¥ [業務コード].ctl
- 送信: [環境ファイルコントロールパス] ¥Send¥ [業務コード].ctl

<設定項目(対象業務)>

| 項目 | 説明 |
|-------|------------------------------------|
| 業務コード | 変換処理の設定情報の識別子を設定します。 |
| | ※1~16 文字で設定を行います。 |
| | ※全角文字は2文字分とみなします。 |
| | ※英文字は大文字、小文字を区別します。 |
| 業務名 | 業務コードを識別する為の補足事項として、業務名を設定します。 |
| | ※1~128 文字で設定を行います。 |
| | ※全角文字は2文字分とみなします。 |
| 処理 | 受信(変換)/送信のどちらの処理で使用するデータかを指定します。 |
| | ※指定した内容によって、作成されるコントロールデータファイルの保存先 |
| | が決まります。 |
| | 受信:コントロールパス配下の Recv フォルダ |
| | 送信 : コントロールパス配下の Send フォルダ |

<設定項目(フォーマット変換 共通)>

| 項目 | 説明 |
|----------|--------------------------------------|
| データ形式 | 変換対象データのファイル種別を指定します。 |
| | 「TNS 標準形式」「TNS 拡張形式」「自由形式」から選択します。 |
| アプリレコード長 | 受信時:受信データのレコードを指定したバイト長にします。 |
| | 送信時:送信データのデータレコードのバイト長を指定します。 |
| | ※1~5000の範囲で指定します。 |
| 改行 | 受信時:対象データの各レコードへ [アプリレコード長] バイト目に改行 |
| 追加 / 削除 | を挿入します。 |
| | 送信時:送信データの各レコードから [アプリレコード長] バイト目にある |
| | 改行コードを削除します。 |

<設定項目(フォーマット変換 伝送フォーマット変換)>

| 項目 | 説明 |
|------------|---|
| 伝送フォーマット変換 | アプリ受渡しフォーマットと DIEX(汎用)もしくは u-DIEX(汎用)の伝 |
| | 送経路上のデータレイアウトに、相互変換します。 |
| DIEX(汎用) | 受信時:DIEX(汎用)伝送フォーマット ⇒ アプリフォーマット |
| センターフォーマット | 送信時:アプリフォーマット ⇒ DIEX(汎用)伝送フォーマット |
| u-DIEX(汎用) | 受信時:u-DIEX(汎用)伝送フォーマット ⇒ アプリフォーマット |
| センターフォーマット | 送信時:アプリフォーマット ⇒ u-DIEX(汎用)伝送フォーマット |

<設定項目(フォーマット変換 フォーマット変換ヘッダー作成 / 削除)>

| 項目 | 説明 |
|-------------|---|
| フォーマット変換 | アプリデータと、TNS 標準形式もしくは TNS 拡張形式のフォーマットデータ |
| ヘッダー作成 / 削除 | とを相互変換します。 |
| | ※受信時は、通信パッケージのメッセージマスタで「ヘッダー作成:しない」 |
| | に設定する必要があります。 |
| | 受信時:ヘッダーレコードとトレーラーレコードを削除し、データレコードから |
| | 区分情報※を削除します。 |
| | 送信時:ヘッダーレコードとトレーラーレコードを追加し、データレコードへ区 |
| | 分情報※を追加します。 |
| ファイルコード | 受信時:無効な設定です。 |
| | 送信時:ヘッダーレコードに記載する、ファイルを識別するコードです。 |
| 宛先取引先コード | 受信時:無効な設定です。 |
| | 送信時:ヘッダーレコードに記載する、宛先取引先コードです。 |
| 送信元取引先コード | 受信時:無効な設定です。 |
| | 送信時:ヘッダーレコードに記載する、送信元取引先コードです。 |
| アプリ有効長 | フォーマット変換後の1レコード当たりのバイト長を指定します。 |
| | 受信時:無効な設定です。 |
| | 送信時:ヘッダーレコードに記載する値です。 |
| | ここで設定したバイト長ごとに区分情報が挿入されます。 |
| | ※区分情報を含むバイト長で指定します。 |
| JIS 年号 | 受信時:無効な設定です。 |
| | 送信時:文字コード変換時の対象 JIS 年号を指定します。 |

※区分情報:TNS標準形式は先頭1バイトの「D」、

TNS 拡張形式は先頭1バイトの「D」と後ろ5バイトの予約領域です。

| く設定項目(フォーマット変換 | 9. 組み立て)> |
|----------------|------------------------------------|
| 項目 | 説明 |
| 組み立て | 受信時:受信データの複数レコードを1レコードへ結合し、アプリデータの |
| | レコードを作成します。 |
| | 送信時:アプリデータの複数レコードを1レコードへ結合し、送信データの |
| | レコードを作成します。 |
| 変換仕様:繰り返し | 複数レコードを1レコードへ結合する際の結合規則を指定します。 |
| 繰り返し回数 | 繰り返し回数で指定した数のレコードを1レコードへ結合します。 |
| 変換仕様:条件指定 | 複数レコードを1レコードへ結合する際の結合規則を指定します。 |
| | 対象のレコードが条件一覧表で指定した条件を満たす場合にレコードを |
| | 結合します。 |
| 条件一覧 | 【条件一覧で指定する項目】 |
| | ・位置:レコード中のチェック対象開始位置 |
| | 1 ~レコード長の範囲で指定します。 |
| | ・長さ:レコード中のチェック対象文字列長 |
| | 1 以上の値で設定します。 |
| | ・文字列:チェック対象と比較する文字列(一致した場合結合する) |
| | ※条件は最大 10 個まで設定可能です。 |
| | ※条件順と位置の順序を合わせる必要はありません。 |
| | ※対象範囲が重複するような設定はできません。 |
| | (設定可能な条件:[位置]+[長さ]≤[次の位置]) |

| フォーマット変 | 換 コード変換 | | | | | | | | | | | | | |
|---------|---------|-----------|-------|------|-----|-----|-----|-----|-----|----|-------|-----|------|----|
| ☑ コード変換 | ŧ. | | | | | | | | | | | | | |
| ロ 2バイト | 変換有り 🏾 | TNSヘッダー情報 | 服変換有り | | | | | | | | | | | |
| 変換仕様: | 条件指定 | ~ | 繰り返し | 回数: | | | | | | | | | | |
| 条件: | | | | 項目設定 | F: | | | | | | | | | |
| | | | | 条件1 | 条件2 | 条件3 | 条件4 | 条件5 | 条件6 | 条件 | 7 条件8 | 条件9 | 条件10 | |
| 条件 | 位置 | 長さ | 文字列 | No. | 位 | 置 | | 長さ | | 2 | て字種 | | | ^ |
| 1 | | | | 1 | | | | | | 2 | バイト変換 | | | ~ |
| 2 | | | | 2 | | | | | | 2 | バイト変換 | | | ~ |
| 3 | | | | 3 | | | | | | 2 | バイト変換 | | | ~ |
| 5 | | | | 4 | | | | | | 2 | バイト変換 | | | ~ |
| 6 | | | | 5 | | | | | | 2 | バイト変換 | | | ~ |
| 7 | | | | 6 | | | | | | 2 | バイト変換 | | | ~ |
| 8 | | | | 7 | | | | | | 2 | バイト変換 | | | ~ |
| 9 | | | | 8 | | | | | | 2 | バイト変換 | | | ~ |
| 10 | | | | 9 | | | | | | 2 | バイト変換 | | | ~ |
| | | | | 10 | | | | | | 2 | バイト変換 | | | ~ |
| | | | | L | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | 登録 | 閉 | じる |

<設定項目(コード変換)>

| 項目 | 説明 |
|------------|---------------------------------------|
| コード変換 | 授受データの文字コードを変換したい場合に指定します。 |
| | 受信時:EBCDIC ⇒ ASCII |
| | 送信時:ASCII ⇒ EBCDIC |
| | ※ 2 バイト変換時は ASCII 部分を S-JIS として変換します。 |
| 2バイト変換有り | 2 バイト文字の変換を行う際に指定します。 |
| | ※チェックが無い状態では項目設定一覧の項目「文字種」で |
| | 「2バイト変換」を使用できません。 |
| TNS ヘッダー情報 | ヘッダーレコード、トレーラーレコードも含めて文字コード変換する場合に |
| 変換有り | 指定します。 |
| 変換仕様:単一 | 全てのレコードに対して、項目設定表の条件1の設定で変換を |
| | 行います。 |
| 変換仕様:繰り返し | 繰り返し回数で定義したレコード数毎に、項目設定表の条件1から |
| 繰り返し回数 | 順に適用させながら変換を行います。 |
| 変換仕様:条件指定 | 対象のレコードが条件表で指定した条件を満たす場合に、項目「条件」の |
| | 番号に対応した、項目設定シートの変換規則で、レコードを変換します。 |
| 条件表 | 【条件表で指定する項目】 |
| | ・位置:レコード中のチェック対象開始位置 |
| | 1 ~レコード長の範囲で指定します。 |
| | ・長さ:レコード中のチェック対象文字列長 |
| | 1以上の値で設定します。 |
| | ・文字列:チェック対象と比較する文字列(一致した場合変換する) |
| | ※条件は最大 10 個まで設定可能です。 |
| | ※条件順と位置の順序を合わせる必要はありません。 |
| | ※対象範囲が重複するような設定はできません。 |
| | (設定可能な条件:[位置]+[長さ]≦[次の位置]) |

| 項目設定表 | レコード中に、2 バイト文字もしくは変換をしたくない文字が存在する |
|-------|-----------------------------------|
| | 場合に、変換規則を設定します。 |
| | 【項目設定表で指定する項目】 |
| | ・位置:対象文字列の開始位置 |
| | 1 ~レコード長の範囲で指定します。 |
| | ・長さ:対象文字列のバイト長 |
| | 1 以上の値で設定します。 |
| | ・文字種:「2バイト変換」「無変換」から指定します。 |
| | ※2バイト変換は「2バイト変換有り」の項目にチェックが無いと |
| | 使用できません。 |
| | ※ひとつのシート内に最大 100 個まで設定できます。 |
| | ※設定順(No.)と位置の順序を合わせる必要はありません。 |
| | ※同じシート内で対象範囲が重複するような設定はできません。 |
| | (設定可能な条件:[位置]+[長さ]≦[次の位置]) |

C) 登録されているコントロールデータの内容を変更する場合は、一覧表で対象のデータを選択した状態で [変更] ボタンをクリックし、コントロールデータ作成(詳細)画面へ遷移します。 ※業務コードは編集できません。

登録されているコントロールデータの内容を基にして、新規にコントロールデータを作成する場合は、一覧 表で対象を選択した状態で[コピー]ボタンをクリックし、コントロールデータ作成(詳細)画面へ遷移 します。[追加]ボタンによるデータ作成時と同様にコントロールデータファイルが新規作成されます。 ※初期表示のままでは業務コードが重複する為、別の業務コードへ変更する必要があります。

- D) 登録されているコントロールデータを削除したい場合は、一覧表で対象を選択した状態で [削除] ボタンをクリックし、コントロールデータ作成(詳細)画面へ遷移します。 該当のコントロールデータファイルが削除され、一覧表からコントロールデータが削除されます。 ※全ての項目が編集できません。
- 4. コントロールファイルの外部取り込み

・既存のコントロールデータファイルを登録する場合に使用します。

- A) データ取り込みをする場合は、コントロールデータ作成画面にて、 [取り込み] ボタンのクリックにより 表示されるファイル選択ダイアログで対象ファイルを選択します。
- B) 選択したファイルの内容を初期値として、コントロールデータ作成(詳細)画面が表示されるので、 データの編集を行い[登録]ボタンをクリックすることで、コントロールデータファイルが作成され、 一覧表へコントロールデータが登録されます。

5. 画面を終了したいとき

・コントロールデータ作成画面及び、コントロールデータ作成(詳細)画面を終了したい場合は、 [閉じる] ボタンをクリックします。

9. 環境設定 法律投资 × システム設定 ログ保管日数(*): 80 「-1」で設定した場合は、ログ、保管ファイルともに削除しません。 モジュールパス(*): C:¥TDCAPL¥EXE データバス(*): C:¥TDCAPL¥DATA コントロールパス(*): C:¥TDCAPL¥DATA¥CTL APLデータパス(*): C:¥TDCAPL¥DATA¥APL 送信データパス(*): C:¥TDCAPL¥DATA¥SEND 受信データパス(*): C:¥TDCAPL¥DATA¥RECV 受信エラーバス(*): C:¥TDCAPL¥DATA¥RECVERR ログパス(*): C:¥TDCAPL¥DATA¥LOG 保管パス(*): C:¥TDCAPL¥DATA¥BACK テンポラリパス(*): C:¥TDCAPL¥DATA¥TMP バックアップ・リストア 登録 閉じる

【機能概要】

- ・環境ファイル(…¥Windows¥TDCAPL.ini)の各種設定値を編集します。
- ・バックアップ・リストアツールを起動します。

(バックアップ・リストアツールの操作については、【10. バックアップ・リストアツール】を参照してください。)

【運用手順】

①各項目の値を設定します。

- ② [登録] ボタンのクリックにより、各項目に設定されている値で環境ファイルが更新されます。
- ③バックアップ・リストアツールを起動する場合、[バックアップ・リストア]ボタンをクリックします。

【操作説明】

・入力項目 及び 選択項目についての指定方法を説明します。

1. 環境ファイル設定値の指定

- A) ログ保管日数は、ログパス及び保管パス配下のデータの保存期間を変更する場合に指定を行います。
 直接入力もしくはスピンボタンによって-1~99の範囲で指定を行います。
 ※-1または0を設定した場合、ログファイルおよび保管パスの削除処理は実行されません。
- B) 各種パス項目は、システムで使用するフォルダを変更する場合に指定を行います。
 ※末尾に「¥」が無い場合でも、システム側で補完され、フォルダパスとして扱われます。
 ※フォルダが存在しないパスを指定することはできません。

2. 環境ファイルの更新指示

・設定した内容で環境ファイルを更新する場合、 [登録] ボタンをクリックします。 ※環境設定画面を起動してから [登録] ボタンをクリックするまでの間に、環境設定画面以外から 環境ファイルが更新されている場合、更新処理は実行されません。

3. バックアップ・リストアツールの起動

・バックアップ・リストアツールを起動する場合、 [バックアップ・リストア] ボタンをクリックします。

4. 画面を終了したいとき

・環境設定画面を終了したい場合は、[閉じる]ボタンをクリックします。
 ※設定値を変更しており、環境ファイルの更新をしていない状態で[閉じる]ボタンをクリックした場合は、
 確認ダイアログが表示されます。

10. バックアップ・リストアツール

| 🔹 バックアップ・リストアツール | | | - | - | | × |
|--|----------------------------|---|--------|----|----|---|
| TDCアプリ支援パッケージのバックアップ・リストアを行います。 | | | バックアップ | | | |
| 対象を選択してくたさい。 | | | ሀストア | | | |
| | | | | | | |
| ☑ KF E) = 9 ☑ 送受信データ | | | | 閉じ | 53 | |
| □ プログラム・モジュール | | | | | | |
| ファイル名: C:¥TDCAPL¥Backup¥ap | L_backup20200603162655.zip | 参 | 照 | | | |

【機能概要】

- ・システムに関する各種データのバックアップファイルを作成します。
- ・バックアップ・リストアツールで作成したバックアップファイルの内容を、現環境へリストアします。
- ・バックアップ・リストアツールは、環境設定画面の他、Windows スタートメニューからの起動も可能です。

【運用手順】

①バックアップまたはリストアする対象データを選択します。

②バックアップファイルのパスを指定します。

③ [バックアップ] または [リストア] ボタンをクリックします。

【操作説明】

・入力項目 及び 選択項目についての指定方法を説明します。

1. 操作対象データの指定

・対象とするデータにチェックを入れます。

| 項目 | 説明 | |
|---------------|-----------------------------------|--|
| マスター・コントロール情報 | 環境ファイル及び各種設定情報、コントロールファイルです。 | |
| | ※バックアップ時、リストア時ともに必須項目です。 | |
| | ※エラーマスタはバックアップ対象外です。 | |
| ログ情報 | システムログ及び転送処理のログです。 | |
| | ※ログ保管日数の設定によっては、リストア直後に削除されます。 | |
| APL データ | 受信(変換)後のファイルや、データ作成機能で作成したファイルです。 | |
| 保管データ | 送受信ファイルのバックアップファイルです。 | |
| 送受信データ | 通信パッケージと連携して送受信した(する)ファイルです。 | |
| プログラム・モジュール | システムで使用するプロセス・モジュール群です。 | |
| | ※バックアップ時のみ選択可能です。 | |

2. バックアップファイルパスの指定

・バックアップファイルパスの指定は、パスの直接入力もしくは [参照] ボタンをクリックすることで表示される ファイル選択ダイアログで行います。

※画面起動時は、環境ファイルの「データパス」と同じ階層の「Backup」フォルダ配下で、 デフォルトのファイル名が初期設定されます。

<u>バックアップファイルのデフォルト名</u> apl_backup[画面起動時刻(yyyyMMddHHmmss)].zip

3. バックアップ処理の実行指示

・設定したファイルパスでバックアップファイルを作成する場合、[バックアップ] ボタンをクリックします。 ※バックアップ時、設定したファイルパスで既にファイルが存在する場合はエラーとなります。

4. リストア処理の実行指示

・設定したファイルパスに存在するバックアップファイルの内容を現環境へリストアする場合、 [リストア] ボタンをクリックします。

バックアップファイルを作成時の、環境ファイルで設定されたパスのフォルダへ、バックアップされた 各種データファイルが配置されます。

※リストア時、設定したファイルパスにバックアップファイルが存在しない場合はエラーとなります。

※配置先のフォルダにファイルが存在する場合、バックアップ時のファイルと同名のファイルは上書きされ、 その他のファイルは残ったままとなります。

※エラーマスタ及び、環境ファイルの「モジュールパス」については、バックアップファイル内のものではなく、 リストア実行前のものが保持されます。

11. 補足

11.1 コントロールデータ作成手順

- ・リスト出力コントロールデータファイル、データ作成コントロールデータファイルは規定のフォーマットに従って作成する 必要があります。
- ■リスト出力コントロールデータファイル作成方法 https://www.toyotasystems.com/service/edi/u-diex/doc/pkg-qa/listctl.pdf
- ■データ作成コントロールデータファイル作成方法 https://www.toyotasystems.com/service/edi/u-diex/doc/pkg-qa/datactl.pdf

11. 2 受信設定 「統合」と「上書き」について

・受信(変換)処理では、受信設定の内容に応じて、作成されるファイルの保存形態が異なります。

【ファイル保存の流れ】

- ①受信設定で「通信パッケージ連携」が有効な場合、通信 PKG で受信したファイルが RECV フォルダへ 配置されます。
- ②RECV フォルダ内のファイルに変換処理を行い、変換後の APL ファイルが作成されます。
- ③受信設定の「統合」「上書き」の設定に応じて APL フォルダ、BACK フォルダへファイルが保存されます。 ※変換のみの場合は②以降のみが実行されます。



| 項目 | 説明 | |
|-----------|---|--|
| RECV フォルダ | 受信ファイル用のフォルダです。 | |
| | 環境ファイルの「受信データパス」で指定します。 | |
| 受信ファイル | 通信パッケージで受信したファイルです。変換処理前のファイルです。 | |
| APL フォルダ | APL ファイルの出力用フォルダです。 | |
| | 環境ファイルの「APL データパス」で指定します。 | |
| APL ファイル | 変換処理後のファイルです。受信設定の「出力ファイル名」で命名されます。 | |
| | 既存 APL ファイル : 過去の受信(変換)処理で作成されたファイルです。 | |
| | 新規 APL ファイル:当該受信(変換)処理で作成されるファイルです。 | |
| | ファイル名 : [出力ファイル名].apl | |
| BACK フォルダ | APL ファイルのバックアップ用フォルダです。 | |
| | 環境ファイルの「保管パス」で指定します。 | |
| 保管ファイル | 変換処理後のファイルです。「出力ファイル名」と受信日時、シーケンス番号で | |
| | 命名されます。 | |
| | 既存保管ファイル:過去の受信(変換)処理で作成されたファイルです。 | |
| | 新規保管ファイル:当該受信(変換)処理で作成されるファイルです。 | |
| | ファイル名 : [出力ファイル名].[日付※][シーケンス(00~99)].apl | |
| | ※日付は yyyyMMddHHmmss 形式です。 | |

【ファイルの保存形態】

・受信設定の「統合」「上書き」のチェック状況でファイルの保存形態が異なります。

| <受信設定> |
|--------|
|--------|

| 項目「統合」 | 項目「上書き」 | 保存形態 |
|--------|---------|-------------------------------------|
| チェックあり | チェックあり | 受信した N 件ファイルを変換後、1つの APL ファイルに連結した |
| | | 上で、既存 APL ファイルと置き換えます。 |
| | チェックなし | 受信したN件ファイルを変換後、既存APLファイルへ連結します。 |
| チェックなし | チェックあり | 受信したファイルを変換後、既存 APL ファイルと置き換えます。 |
| | | 複数ファイルを受信した場合は、最後に受信したファイルを変換し |
| | | て出来た APL ファイルだけが残ります。 |
| | | (BACK フォルダには N 件分の保管ファイルが残ります。) |
| | チェックなし | 既存 APL ファイルが無い場合、最初に受信したファイルを変換し |
| | | て出来た APL ファイルだけが残ります。 |
| | | 既存 APL ファイルが存在する場合、新規 APL ファイルは作成され |
| | | ません。 |
| | | 変換処理が実行されなかった受信ファイルは、RECV フォルダに残 |
| | | ります。 |

【ファイルの保存形態(例:受信ファイル3件の場合)】

・各設定におけるファイル保存の結果として、受信ファイル3件の場合を例に挙げます。

1. 統合:チェックあり、上書き:チェックありの場合



ファイル

ファイル

<u>APL フォルダ</u>

既存 APL ファイルは削除され、新規 APL ファイルのみ が残ります。 新規 APL ファイルは受信ファイル 3 件分を連結したも のです。

<u>BACK フォルダ</u>

新規保管ファイルが1件追加されます。 新規保管ファイルは受信ファイル3件分を連結したも のです。

2. 統合:チェックあり、上書き:チェックなしの場合



BACK フォルダ

既存保管

ファイル

<u>APL フォルダ</u>

既存 APL ファイルは削除され、新規 APL ファイルのみが残ります。

新規 APL ファイルは、既存 APL ファイルに受信ファイ ル 3 件分を連結したものです。

BACK フォルダ

新規保管ファイルが1件追加されます。 新規保管ファイルは、既存 APL ファイルに受信ファイル 3件分を連結したものです。

3. 統合:チェックなし、上書き:チェックありの場合

新規保管ファイル

(既存 APL ファイル

+

新規 APL ファイル)



<u>APL フォルダ</u>

既存 APL ファイルと先に受信した2件分の新規 APL ファイルは削除され、最後に受信した1件分の新規 APL ファイルが残ります。

新規 APL ファイルは受信ファイル毎の個別のものです。



BACK フォルダ

新規保管ファイルが3件追加されます。 新規保管ファイルは受信ファイル毎の個別のものです。

4. 統合:チェックなし、上書き:チェックなしの場合

